

令和7年度使用中学校用教科用図書の採択結果等について

採択地区名	世羅町
-------	-----

種 目	発行者	採 択 理 由
国語	東書	○情報と情報との関係の捉え方や、比較や分類、関連付けなどの情報の整理の仕方を、生徒にとって身近な例を題材にして、体系的に学ぶことができるようにするなど、情報の扱い方に関する事項の示し方に工夫がある。 ○問題解決的な言語活動が多く設けられ、生徒どうしが助言し合ったり、議論を通して考えを深めたり、互いの考えを生かして結論をまとめたりするなど、協働して学びを深められるように工夫されている。 ○デジタルコンテンツとして、「話すこと・聞くこと」の動画や古文の朗読動画がある。また、ゲーム・クイズ形式の文法問題もあり、生徒が意欲的に取り組めるような工夫がある。さらに、テーマごとに語彙を検索でき、意味や用例を確認することもできる。
書写	教出	○知識及び技能の習得について、ボールペンの持ち方の理解を助ける写真を掲載したり、朱墨で筆使いを示し、ポイントとなるところに、「連続」や「変化」を示すアイコンと写真で筆使いを示すなど、生徒の視覚的な理解を促す工夫がある。 ○主体的に学習に取り組む工夫として、校庭の植物を観察してレポートにまとめるなど、学校生活と関連付けた単元を設定している。
社会 (地理的分野)	東書	○見方・考え方を働かせるための工夫として、巻頭ページに「地理を学ぶ5つのミカタ」を設定し、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」といった、地理を学ぶ上での5つの見方を示している。 ○単元の導入において、諸地域の特色をおさえた上で、対話形式になっているキャラクターの吹き出しによって探究課題へと思考の流れを導く工夫がされている。また、地形図の色使いが鮮やかで見やすい。 ○単元ごとに導入の動画、白地図、統計表、記述できるテキスト、ワードチェック、まとめに活用できるQRコードが掲載されており、復習、予習に活用できようになっている。
社会 (歴史的分野)	東書	○見開きごとにタイトルと副題を示し、「どのような」「どのように」といった1授業あたりの学習課題と小単元の学習課題を示している。また、見開き左ページに「チェック」、右ページに「トライ」を設定し、授業の流れを意識した問いの設定がなされている。 ○学習のまとめの工夫として、探究課題の解決の前に様々な視点から学習内容を整理したり、節のまとめとして学習を振り返るなど、自分の考えを文章にまとめる場面を設定している。 ○掲載資料は色分けをして配置されており、視覚的でわかりやすい。また、QRコードを読み取ることで、クイズ、練習問題、ワークシート、動画、文献資料、地図、を閲覧したり、学習に役立つウェブサイトアクセスしたりすることができる。

種 目	発行者	採 択 理 由
社会 (公民的分野)	東書	○単元末において、学習課題、学習活動を設定しており、深める学習においては、思考ツールや資料をもとにしてまとめる方法を示すなど、学習のまとめの工夫がある。 ○各章末に『深めよう』を設定し、生活に関わりのある学習課題を提示するとともに、社会とどのように関わるか、社会をどのように築いていくかを考える活動を設ける等、社会参画への意識を高める工夫がある。 ○絵図、写真等の掲載が比較的多く、それぞれに脚注を記載している。
地図	帝国	○地図を基に確認したり深めたりする問いのコーナー「地図で発見!」を設定するなど、目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫がある。 ○世界は州ごと、日本は地方ごとに、一般図の次に資料を掲載し、歴史、公民、防災、環境、SDGsに関連する資料にはマークが入っている。また、学習者が視覚的にイメージしやすくなるよう、鳥瞰図が多く使われている。
数学	学図	○知識及び技能の習得を図るための工夫として、各学習のはじめに「Question」を設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決の見通しを持たせるようにしている。 ○問題解決的な学習を実施するための工夫として、例えば、水が沸騰するのは何分後になるかを予測する問題では、「問題を見つけよう→実験して考えよう→グラフに表してみよう→説明してみよう→式に表して考えよう→新たな問題を見つけよう」という問題解決の過程を示している。 ○各所に掲載されているQRコードから、教科書アドバイザー「マスマス」などを利用することができる。「マスマス」では、AIチャットで質問することができ、個別のつまづきにも柔軟に対応できる。
理科	啓林館	○単元の導入において、課題を設定するための工夫として、単元や小単元のはじめに大きな写真とともに単元の内容が説明されている。学びの見通しや単元を貫く問い、復習も示されている。 ○科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫として、巻頭及び巻末に探究の過程の流れを示している。各単元の一箇所に「探Q実験」を設定し、巻末に添付した「探Qシート」に生徒が書き込むことで、探究の過程に沿った学習活動が行えるようにしている。 ○デジタルコンテンツについて、動画だけでなく、振り返りシートや、動かせたり編集できたりする多様なコンテンツで、理解を助けたり、理解を深めたりすることができるようにしている。
音楽 (一般)	教芸	○音楽的な見方・考え方を働かせる工夫として、「学びのコンパス」で「見方・考え方」を働かせて深い学びを実現するための手立てを示している。また、各学年とも「音楽を形づくっている要素」のページを設け、各学年の学習内容に沿ったイラストを具体例とともに掲載している。 ○興味・関心を高めるための工夫として、巻頭に、様々な表現活動にかかわる人物のメッセージと「音楽とは何か」について様々な分野の人による多角的な考えを掲載している。 ○各教材にQRコードが掲載されており、それを読み込むことでパート別の旋律、ピアノ伴奏が再生できる。また、内容や図等の補足説明を見ることやワークシートの活用もできるなど、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

種 目	発行者	採 択 理 由
音楽 (器楽合奏)	教芸	○器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫として、聞き馴染みのある曲や親しみのある曲を掲載している。また、ページの最上部に見開き2ページ分の活動内容を示し、曲の練習をしながら技能の習得ができるように工夫されている。 ○音楽的な見方・考え方を働かせる工夫として、「アンサンブルセミナー」とともに「学びのコンパス」のページがあり、表現活動を通して思考力・判断力を育む場面を設定している。また、考えたことを記録するワークシートがQRコードに組み込まれている。 ○和楽器のページにおいては、楽器の奏法に関係することだけでなく、各楽器を用いた鑑賞曲も取り上げている。また、鑑賞曲は音楽（一般）に掲載されているものとリンクしている。
美術	光村	○3年間で必要な「描く」「つくる」「写真」「映像」「発想・構想」「形・色・光」「色」について別冊資料が用意されており、生徒が参照しながら主体的に制作を進められる工夫がある。 ○全体を通して多様な日本美術が掲載されており、日本の絵画を風合いのある用紙に掲載するなど、日本美術への理解が深まるような工夫がされている。 ○各題材において、題材名の横にQRコードで、技法動画、全国の生徒作品、書き込みツール、鑑賞解説動画、作家作品関連動画、美術史用語、地域作品などを示している。特に「体感ミュージアム」では、鑑賞作品に書き込みをしたり、360度回して鑑賞したりできるようになっている。また、教科書の裏表紙に学校生活や社会生活に役立つ資料がQRコードで示されている。
保健体育	東書	○学習の初めに、学習におけるキーワードを示し、学習した内容自分の生活に当てはめられるような課題が示されている。また、キーワードの解説や章末問題などをデジタルコンテンツに収録している。 ○思考・判断・表現したことを書くための記入スペースを教科書内に設け、学習したことを確認することのできる工夫が設定されている。 ○小学校、高等学校の学習内容と関連させて各章の学習内容を章扉に示している。また、各時間に「見つける」や「活用しよう」「広げる」など、日常生活や既習内容を基に課題に迫り、まとめでは事例やグラフをもとに考えたり、更に調べて自分の生活に活かしたりする活動が設定されている。
技術・家庭 (技術分野)	東書	○技術の概念の理解を促すための工夫として、「技術の最適化」という項目があり、これまでの振り返り、自分の問題解決と社会における問題解決について考えることを促す生徒のつぶやき等を記載している。 ○技術の見方・考え方を働かせるための工夫として、技術分野のガイド「技術の見方・考え方」において、製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていることに気づかせるための漫画を掲載している。 ○「デジタルコンテンツを活用しよう」のページがあり、デジタルコンテンツの一覧表示用のQRコードが示されており、全てのページに「Dマーク」とQRコードが示され、関連のデジタルコンテンツを表示できる。

種 目	発行者	採 択 理 由
技術・家庭 (家庭分野)	東書	○課題を実践し、評価を改善し表現するための工夫として、「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、課題設定、計画、実践、評価、改善といった、学習の流れを示している。 ○「生活の営みに係る見方・考え方」を「家庭分野のガイダンス」において、マークやイラストを用いて説明しているため、考えを整理しやすい。 ○授業で利用できるワークシートや思考ツール、基礎技能や幼児に関わる動画など、学習内容を定着・深化したり、家庭での実践に役立てたりできるデジタルコンテンツが豊富に用意されている。
英語	開隆堂	○単元における言語活動の工夫として、単元のscenesに既習の文法事項を用いて自分のことを伝えたり、相手に質問したりするSpeak & Write の活動がある。また、Our Projectの単元では、Goalが具体的に、モデル文の提示、完成までのステップの提示などに工夫がある。 ○単元に対する興味、関心を高めるための工夫として、新出表現の導入がマンガ形式で掲示されており、新出表現がどのような目的・場面・状況で使われるのか視覚的に理解できる。また、各単元のPartに入る前に、Tuning in という本文のテーマについて話し合う活動や、会話を聞き内容を確認する活動が設定されている。 ○巻末のWord Listには小学校外国語科で学習した単語に印をつけている。新出事項を扱う単元に入る前に、小学校でできるようになったことを確認できるページがある。
道徳	東書	○問題解決的な学習を取り入れた工夫として、「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに探究の対話「p4c」や「対話の流れ」等を記載するなど学習過程を示している。 ○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方として、付録に「SDGs」と関連する教材を設けている。また、いじめの問題をテーマとした、3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめのない世界へ」を設けている。 ○「朗読音声」「ワークシート」「Webサイト」「資料」「VR映像」「心情円」「映像」「他教科リンク」など多様なデジタルコンテンツがあり、マーク及びQRコードとともに示している。